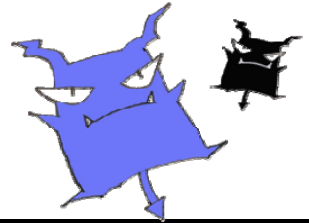


平成22年2月

京都市こどもの感染症



☆☆ 去年の今ごろ、京都市で多かった感染症

1位	2位	3位
インフルエンザ	感染性胃腸炎	水ぼうそう（水とう）
インフルエンザは、例年は、季節性インフルエンザが1月ごろにピークを迎えますが、今シーズンは、去年の8月ごろから新型インフルエンザが流行しています。高熱、全身のけんたい感、筋肉痛などが主な症状ですが、合併症を起こす場合がありますので、気になる症状があれば、事前に医療機関へ相談のうえ、マスクをして、受診しましょう。	発熱、下痢（げり）、おう吐などが主な症状です。下痢やおう吐が続くと脱水症になりやすいので、水分をこまめに摂りましょう。	伝染力が強く、肺炎・脳炎・ずい膜炎などの合併症を起こす場合もあります。予防接種（1歳以上、1回接種）は任意ですが、集団生活をする場合は接種されることをお勧めします。発病したら、すべての発しんが「かさぶた」になってから登校（園）しましょう。

**2期、3期、4期の麻しん・風しん(MR)ワクチン
接種対象年齢の方は、平成22年3月31日までにお済ませください**

<麻しん・風しん(MR)ワクチンの接種対象年齢>

1期：1歳（生後12月から24月に至るまでの間にある者）

2期：5歳以上7歳未満の者（幼稚園の年長児に相当する者）
（平成15年4月2日～平成16年4月1日生まれの者）

3期：年度内に13歳となる者（中学1年生に相当する者）
（平成8年4月2日～平成9年4月1日生まれの者）

※ 今年度から、京都市立中学校においては、学校の指定日に集団接種を実施しております。
（対象者には、学校から「お知らせ文」と「予診票」が配付されます。）

4期：年度内に18歳となる者（高校3年生に相当する者）
（平成3年4月2日～平成4年4月1日生まれの者）

1期から4期の対象になる方は、**無料で**ワクチンの接種が受けられます。

接種対象年齢以外の方は、自己負担が必要となりますので、ご注意ください。
費用につきましては医療機関によって異なりますので、予約の際にご確認ください。

● 注意点

麻しん・風しん(MR)ワクチンを個別接種する場合、最寄りの予防接種協力医療機関(※)に**事前に予約をしてください**。(ただし、3期で集団接種をする場合は除きます。)

※予防接種協力医療機関について

母子健康手帳と一緒に渡した「京都市予防接種協力医療機関名簿」又は、京都市保健福祉局保健医療課の下記のホームページに掲載しています。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000060618.html>



麻しん・風しん(MR)ワクチンは、生ワクチンですので、**27日間、他のワクチン(新型インフルエンザワクチン等)を接種することができません**。同時期に、他のワクチンの予防接種を希望される方は、接種時期について、医療機関にご相談ください。